

# 講義の概要

絵本との出会いは子どもたちにとってたくさんの言葉や文字に触れるきっかけであり、その内容を通じて様々な知識や技術、価値観について学ぶ機会となります。また、1冊の絵本には1つの世界があり、子どもたちは色々な絵本との出会いを通して感性を豊かにし、想像力を育んでいきます。そうしたことから、絵本は保育環境を構成する上でも欠かせぬ重要な要素となっています。この講義では絵本の意義や子どもの年齢に応じた絵本の選び方などについてお伝えしていきます。

## 学びのポイント

- ・ 子どもに「絵本」を読むことの意味
- ・ 乳児さん（0・1・2歳児）に読んであげたい絵本
- ・ 幼児さん（3・4・5歳児）に読んであげたい絵本



# 子どもに「絵本」を読むことの意味

①子どもにとって  
大好きな大人と過ごすひと時

②絵本の世界は  
子どもにとって1つの経験

③豊かな感性や想像力が育まれる

④言葉の美しさや面白さ、  
楽しさを知るきっかけ

⑤読書のはじまり



では次に乳児さん（0・1・2歳児）を対象とした絵本についてお話したいと思います。乳児期は言葉も急激に発達する時期ですので発達に応じた絵本を選ぶのもポイントですが、先ほどお伝えしたように応答的に関わりながら情緒の安定を図ることも同じくらい大切です。どのような絵本を選んだらよいか、また乳児さんに対する絵本の読み聞かせについてよくある疑問についてお伝えしたいと思います。

## 学びのポイント

### ☺乳児期に読んであげたい絵本

- ・ 毎日の生活に密着した絵本
- ・ 言葉の響きやリズムを楽しむ絵本
- ・ 読み手と一緒に楽しむ絵本
- ・ 簡単なストーリーのある絵本

### ☺こんなときどうすればよい？

- ・ 絵本の読み聞かせを始めるのはいつから？
- ・ 同じ絵本を繰り返し読むようせがまれたら？など



# 毎日の生活に密着した絵本

『くだもの』

文・平山和子 福音館書店

『くつつあるけ』

文・林明子 福音館書店

『やさいさん』

作・tupera tupera 学研



身近な物を題材とした絵本は、  
現実世界とリンクさせてイメージしやすく、  
子どもにとっても親しみやすい！



# 言葉の響きやリズムを楽しむ絵本

## 『もこ もこもこ』

作・谷川俊太郎 絵・元永定正 文研出版

## 『わにわにのおふろ』

文・小風さち 絵・山口マオ 福音館書店

## 『おやおや、おやさい』

文・石津ちひろ 絵・山村浩二 福音館書店

言葉の響きから  
美しさやユーモラスさが  
感じられる絵本は子ども  
に人気です！



# 読み手と一緒に楽しむ絵本

『たべたの だあれ』

作・五味太郎 文化出版局

『きんぎょが にげた』

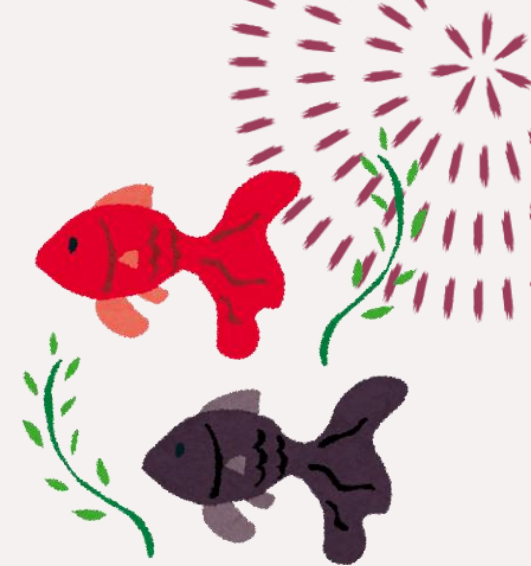
作・五味太郎 福音館書店

『てじな』

作・土屋富士夫 福音館書店

『おおきなかぶ』

再話・A.トルストイ 訳・内田莉莎子  
画・佐藤忠良 福音館書店



ただ「読む」だけでなく、  
ライブのように子どもたちとのやり取り  
を楽しんでみてください！



# 簡単なストーリーのある絵本

## 『はらぺこあおむし』

作・エリック＝カール 訳・もりひさし 偕成社

## 『三びきのこぶた』

イギリスの昔話 訳・瀬田貞二 絵・山田三郎 福音館書店

## 『三びきのやぎのがらがらどん』

ノルウェーの昔話 絵・マーシャ・ブラウン 訳・せたていじ 福音館書店

「次はどうなるんだろう!？」と  
ワクワク・ドキドキ期待感をもって  
絵本の世界を楽しみます!



# 乳児さんへの読み聞かせ…

## こんなときどうすればよい？

絵本を持ってくるので  
興味があるのかと読み始めたら  
絵本を閉じようとする

絵本の読み聞かせ  
いつから始めたらよい？

同じ絵本を何度も何度も  
繰り返し読むよう求めてくる

乳児向けの絵本は  
幼児さん（3・4・5歳児）では  
楽しめない？





# 講義の概要

ここからは幼児（3・4・5歳児）を対象とした絵本を扱います。想像力や感情が豊かになる、周囲の環境への関心や知識欲が一層高まる幼児期において求められる、絵本の役割について考えます。

## 学びのポイント

- ・ 様々なテーマの絵本に触れてみましょう。  
それぞれのおはなしの魅力やに触れ、子どもたちと一緒に読みたい！と思える絵本を探してみましょう。
- ・ 幼児期における絵本の役割を考えてみましょう。  
意図や思いをもって絵本の選択をし、読み聞かせを行う上でのポイントを考えてみましょう。



# 『はけたよ はけたよ』

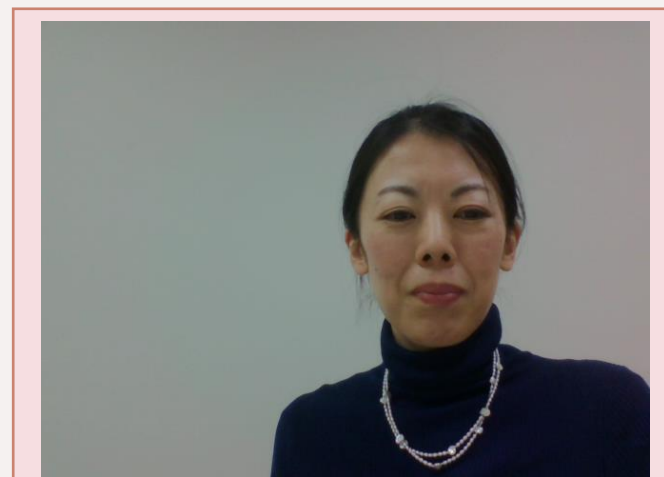
文・神沢利子 絵・西巻茅子  
偕成社

# 『みんな うんち』

作・五味太郎  
福音館書店



生活に身近な事象をテーマとした  
絵本。自分の経験や知識と、おは  
なしとを重ね合わせて楽しむ。

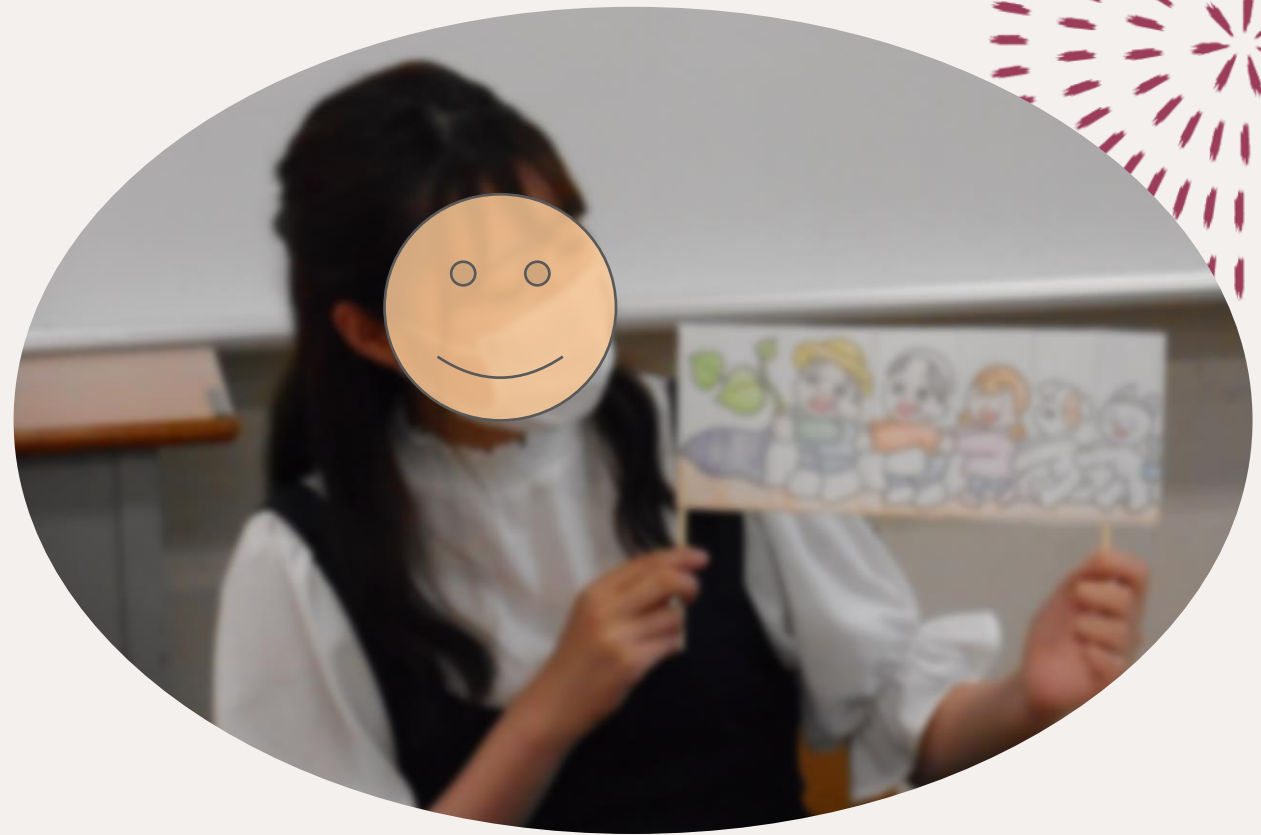


# 『ぐりとぐら』

作・中川李枝子 絵・大村百合子  
福音館書店

# 『はじめてのおつかい』

作・筒井頼子 絵・林明子  
福音館書店



創作物語の代表とも言えるロングセラー本。誰しもが読んだことがあり、大人にもファンが多い。



# 『泣いた赤おに』

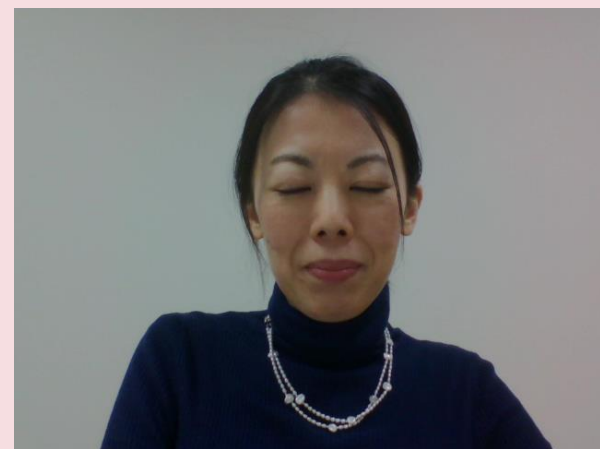
作・浜田廣介 絵・梶山俊夫  
偕成社



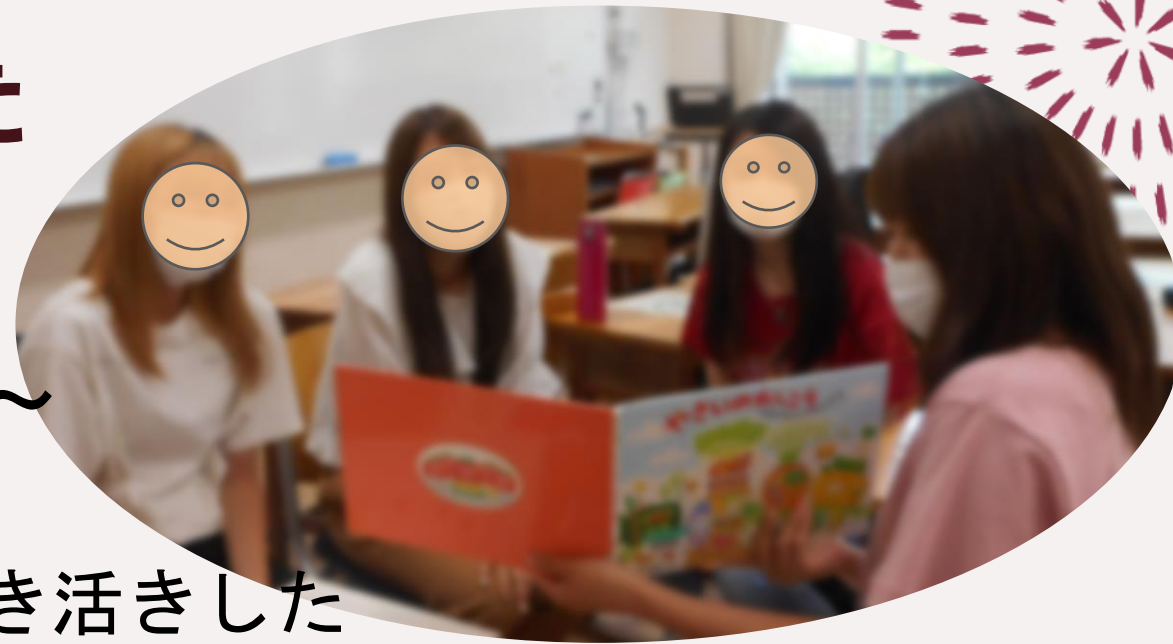
# 『エルマーのぼうけん』

作・ルース・スタイルス・ガネット 絵・ルース・クリスマン・ガネット  
訳・渡辺茂男 福音館書店

児童文学（幼年文学）に親しむ。  
様々な感情を味わいながらも、  
夢中になって楽しめる物語。



# ご視聴ありがとうございました



## ・ 育ての心（下）

～子どもの絵本と雑誌の与え方～

倉橋惣三 フレーベル館

読みたい本というものは、児童の生き生きした  
欲求の当然である。それが興味の本である。...  
しかしそれは決して放任ではない。

## ・ 絵本の与えかた 松居直

絵本は幼児に読ませる本ではありません。...  
絵本は、おとなが子どもに読んであげる本です。

福音館書店 [与え方HP.indd \(fukuinkan.co.jp\)](http://fukuinkan.co.jp)

